

著者に会いたい

『起きたことは笑うしかない!』

浅草演芸ホール会長 松倉 久幸さん(83)



「声だけはね、若い頃から呼び込みで鍛えてきた。あはははは!」と人生を振り返る本書のあひから、も、朗らかな笑い声が響いてくる。劇場経営に乗り出した父と、10代で長野から浅草へ。映画館や劇場が30軒以上しめく黄金時代から現在に至る街の浮き沈み、そして芸人たちの成長を見守ってきた。「浅草には笑いの伝統が詰まってる。町工場の職人さん、芸人さん

自分で種をまかなきゃね

「声だけはね、若い頃から呼び込みで鍛えてきた。あはははは!」と人生を振り返る本書のあひから、も、朗らかな笑い声が響いてくる。劇場経営に乗り出した父と、10代で長野から浅草へ。映画館や劇場が30軒以上しめく黄金時代から現在に至る街の浮き沈み、そして芸人たちの成長を見守ってきた。「浅草には笑いの伝統が詰まってる。町工場の職人さん、芸人さん



- ①ブラックパード マイケル・フィッセル著 高橋恭美子訳 ハーパーBOOKS 1290円
- ②犯人IAのインテリジェンス・アンプリファード 早坂啓著 新潮文庫nex 594円
- ③屍人荘の殺人 今村昌弘著 創元推理文庫 799円

文庫 杉江松恋が薦めるこの新刊!

①殺し屋は卵アレルギー ②は人工知能(AI)の名探偵・相手が活躍するシリーズの第二作である。探偵に對抗する犯人として相

カルカッタの殺人



Abir Mukherjee 74 本英、52年ロンドン生まれ。ヒンズリ作家としてデビュー。トリカル・ダガール賞受賞。

評・諸田 玲子 作 家

アビール・ムカジー(著)

田村義進訳 ハヤカワ・ミステリ 2268円

「快楽殺人は出てこない。AI犯罪もコンピュータウイルスも大量破壊兵器もなし。あるのは、太古からくりかえされてきた民族間の抗争と人間の尽きぬ欲望、悔恨と憎悪と癒えることのない心の傷...そして人種を超えた信頼と友情、ほのかな恋である。舞台は一九一九年の英国領インド。荒家が密集するカルカッタ(現コルカタ)のインド人街で英国人高官の惨殺死体が発見される。スコットランド・ヤードの敏腕刑事だったウィンダムとインド人の新米部長刑事バネルジーが捜査にあたる。モルヒネと阿片の助けを借りて生きている死にぞめないウィンダムが、志を燃やしてバネルジーと心を通わせてゆく過程は読みどころのひとつだけれど、それ以上に読者は人種、貧富、カースト...差別と格差が培養してきたエネルギーが噴き上がる時の凄まじいマグマに圧倒されるのだ。」



うえはら・くにひこ 52年生まれ。関西大教授(社会思想史)。『マルクスを読む』など。

評・宇野 重規 東京大学教授・政治思想史

隠された奴隷制

植村 邦彦(著)

「現代の自由の思想存在を自明視し、それを依拠して議論していたかを論じていく。奴隷制を使用する農園を植民地に所有していたロックをほじめ、著者はモンテスキューやヘーゲルなどの議論を、そこに描かれていた奴隷という視点から読み直していく。自由のために論じていたはずの思想家たちがなぜ、奴隷制なるための第一歩である著者は結論づける。重たい、問題提起の書である。」

差別と格差 熱いマグマに圧倒

「最初のページから灼けつく太陽と熱風にさらされ、謎が謎を呼ぶ混沌とした増幅へ投げ込まれる。」「かつてジャングルとユロキ屋根の小屋しかなかったところに、イギリス人は、満洲や南洋や記念碑を建て、街をつくらした。」「だから、ここはイギリス人の街だと言っている。だが、そうではない。この地に五分もいれればわかる。」「最悪なのは偽善よ。イギリス人もインド人も、面と向かってだと愛想を振りまいているのに、心のなかでは嘲り、さげすんでいる。そう。ここは偽善者の土地なのだ。イギリス人は無分別な野蛮人に西洋文明の恩恵をもたらすためにここにきていると言っているが、実際は金儲けしか頭にない。」

現代日本に生きる私たちもまた

朱野崎子の小説に『わたしの逆説を追う論』はスリリングだ。さらに深刻な

「朱野崎子の小説に『わたしの逆説を追う論』はスリリングだ。さらに深刻な。」「中では主人公は『一定時に帰る』と、それを自らの意志で選んだと考えている。『自由労働者』たちである。」「彼らは自分を奴隷とは思っていない。が、雇用されて働くしかなく、失業したら生きていけないとあえて『自己責任』で長時間労働を引き受ける労働者は、本当に自由なのか。現代を生きている私たちもまた、『隠された奴隷制』の下に生きていくのかと著者は問うている。」

父さんはどうしてヒトラーに投票したの?

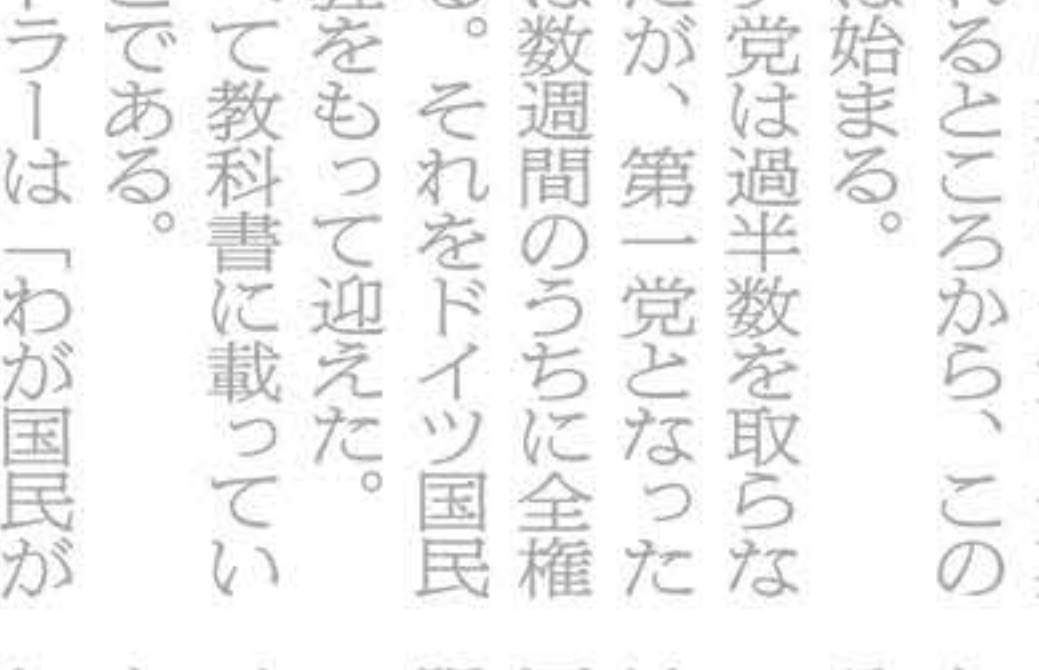
湯川順夫、戦争ホークの会訳 解放出版社 1944円



評・宇野 重規 東京大学教授・政治思想史

月下の犯罪

サーシャ・バッチャーニ(著) 伊東信宏訳 講談社選書メチエ 1998円



評・宇野 重規 東京大学教授・政治思想史

待望の最新刊! 目に見えない力がもたらす豊かさとは

わたしと霊性 服部みれい

「わたしと霊性 服部みれい」本1500円+税。あたらしい時代を生かすための知恵を発信する「マママジン」の編集長、服部みれいが自身の原点を綴った現代に響く若い人たちの未来を明るくする随筆集。

自由国民社 171-0033 東京都豊島区高田3-10-11 0120-29-9625

「話し方」ひとつで人生は変わる!

良寛さん

清々しい人になる90の教え

発売後、忽ち大増刷!

「残念な話し方」していませんか?

「きれいな話し方」思いやりのある話し方ができる人は誰からも好感をもたれます。好印象を抱かれる「話し方」のコツを、禅僧・良寛さんから学びます。

「わが子に障害があったらどうする?」

障害のある子が将来にわたって受けられるサービスのすべて

「わが子に障害があったらどうする?」

障害があることで利用できる福祉サービス、公的な支援策、経済的なサポート制度などを、本人の年代や場面ごとに紹介。こういった制度を知ること、漠然とした不安を抱えた状態から、悩みの具体的な課題を明確にします。

悪化する日韓関係を考察するヒント

平凡社ライブラリー 平凡社新書

池畑修平 韓国内なる分断 葛藤する政治 疲弊する国民

日本会議の正体

青木理 安倍政権とも密接な関係をもつ、憲法改正を掲げて政治運動を展開する、日本最大の草根右派組織の正体とは?

和歌の正体

朴裕河 佐藤久 日韓の間にある四つの問題を取り上げ、不信と怒りの連鎖を解き、和歌の土台を示した。著者大佛次郎論壇賞受賞作。

有職装束大全

八條忠基 朝野や公家社会、武家の儀式など、装束を歴史的な知識で解説し、豊富な図解で完全図解。

緊急重版中!

万葉集を歩く

犬養孝がたずねた風景

富田敏子、山内英正

万葉学者犬養孝のノートを手がかりに万葉集の舞台を訪ね、歌を読み解く。令和の引用元、梅花の姿も紹介。

角野栄子エブリデイマジック

角野栄子

創作のインスピレーションに満ちた日々を探る。アイデアを書きとめたメモなど、秘密のアイテムを公開。

平凡社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29 営業部: TEL03-3230-6573 FAX03-3230-6587

●本のご注文はお近くの書店へ。 ●表示の価格は本体価格です。別途消費税が加算されます。 ●公式サイト https://www.heibonsha.co.jp